

大学番号：052

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

人間総合科学大学 人間科学部 ヘルフトサイエンス学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人早稲田医療学園  
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務課

職名・氏名 ジムチョウ 事務長 ハセガワ 長谷川 マコト 誠

電話番号 048-749-6111

（夜間） 048-749-6111

F A X 048-749-6110

e-mail admin@human.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

人間科学学部

<ヘルスフードサイエンス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	29

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人早稲田医療学園

## (2) 大学名

人間総合科学大学

## (3) 大学の位置

〒339-8539

埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クスミ マリ) 久住 眞理 (平成3年4月)		
学長	(クスミ マリ) 久住 眞理 (平成16年4月)	(クスミ タケシ) 久住 武 (平成29年4月)	学長退任のため 平成29年4月 (29)
学部長	(ダイトウ シュンイチ) 大東 俊一 (平成27年4月)	(スズキ ハルエ) 鈴木 はる江 (平成28年7月)	学部長死亡による退任のため 平成28年7月 (29)
学科長等	(クワタ タモツ) 桑田 有 (平成29年4月)	(トキミツ イチロウ) 時光 一郎 (平成30年4月)	学科長退任のため 平成30年4月 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科 学士(食品健康科学)	家政関係	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 ( - ) [ - ]	-人	80人 ( - ) [ - ]	-人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	0.12倍	
志願者数	9 (-) [ - ]	(-) [ - ]	26 (-) [ - ]	(-) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	9 (-) [ - ]	(-) [ - ]	20 (-) [ - ]	(-) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	9 (-) [ - ]	(-) [ - ]	16 (-) [ - ]	(-) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	7 (-) [ - ]	(-) [ - ]	13 (-) [ - ]	(-) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.08		0.16							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	7 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	13 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )					転入学生2名 (30)
2年次	/		9 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )					
3年次	/		/						
4年次	/		/						
計	7 [ - ] ( - )		22 [ - ] ( - )						

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	7人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	22人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	29人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目	心身健康科学概論	1前	2			3			1		9
	行動科学概論	3後	1								1
	生命科学概論	1前	1								1
基礎科目	こころの科学	1前	2								1
	化学基礎	1前	2								1
	生物学基礎	1前	2				1				1
	生化学	2前	2				1				1
	有機化学	2後	2	2							1
	無機化学	2後	2	2							1
	食品微生物学	2前	2	2		1					1
	細胞と遺伝子	3前	2								1
	基礎統計演習	3前	2								2
	英語基礎	1前	2								1
	食文化論	2前	2			1					1
	コンピュータ入門	1前	2								2
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1								1
	数学	1前	1								1
	ストレスと食・健康	1後	1								1
	職業とキャリア形成	1前	1			1					1
	コミュニケーション演習	1前	1			1		1			1
	体育概論	1前	1								1
	スポーツと健康	1後	1								1
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1					1
	食品学各論	1後	2	2		1					1
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1					1
	食品学実験Ⅱ	3後	1			1					1
	食の科学	1後	2								1
	食品素材論	2後	2								1
	調理学	2前	2	2							1
	栄養と代謝	1後	2				1				1
	栄養代謝実験	3前	2	2				1			1
	食品加工基礎	1後	2	2		1					1
	食品加工基礎実習	1後	1	1		1					1
	食生活と健康	2前	2					1			1
	食品管理論	2前	2	2		1					1
	食品衛生学	2前	2	2		1					1
食品衛生学実験	2後	1			1					1	
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1								1
	身体の構造と機能	1前	2				1				1
	病気の成り立ち	2前	2	2				1			1
	解剖生理学実習	2前	1					1			1
	食品醗酵学	2前	2	2		1					1
	免疫学	3後	2	2		1					1
	感染症学	3後	2	2		1					1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア科目	心身健康科学概論	1前	2			3				1	9
	行動科学概論	3後	1								1
	生命科学概論	1前	1								1
基礎科目	こころの科学	1前	2								1
	化学基礎	1前	2								1
	生物学基礎	1前	2				1				1
	生化学	2前	2				1				1
	有機化学	1後	2	2			1				1
	無機化学	2前	2	2			1				1
	食品微生物学	1後	2	2						1	1
	細胞と遺伝子	3前	2								1
	基礎統計演習	3前	2								2
	英語基礎	1前	2								1
	食文化論	2前	2			1					1
	コンピュータ入門	1前	2								1
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1								1
	数学	1前	1								1
	ストレスと食・健康	1後	1					2			1
	職業とキャリア形成	1前	1			1		2			1
	コミュニケーション演習	1前	1			1		3		1	2
	体育概論	1前	1								1
	スポーツと健康	1後	1								1
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1					1
	食品学各論	1後	2	2		1		3		1	1
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1		1			1
	食品学実験Ⅱ	3後	1			1		1			1
	食の科学	1後	2					1			1
	食品素材論	2前	2					1			1
	調理学	1後	2	2				1			1
	栄養と代謝	1後	2				1				1
	栄養代謝実験	3前	1	2				1			1
	食品加工基礎	1後	2	2		1					1
	食品加工基礎実習	1後	1	1		1					1
	食生活と健康	1後	2	2				1			1
	食品管理論	2前	2	2		1					1
	食品衛生学	2前	2	2		1					1
食品衛生学実験	2後	1			1					1	
臨床栄養学概論	2前	2	2							1	
給食計画論	1後	2	2							1	
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1								1
	身体の構造と機能	1前	2				1				1
	病気の成り立ち	2前	2	2				1			1
	解剖生理学実習	2前	1					1			1
	食品醗酵学	2前	2	2		1					1
	免疫学	3後	2	2		1					1
	感染症学	3後	2	2		1					1



【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コア科目	心身健康科学概論	1前	2			3						13
	行動科学概論	3後	1									1
	生命科学概論	1前	1									1
基礎科目	こころの科学	1前	2									1
	化学基礎	1前	2									1
	生物学基礎	1前	2									1
	生化学	2前	2									1
	有機化学	1後	2	2		1						
	無機化学	2前	2	2		1						
	食品微生物学	1後	2	2				1				
	細胞と遺伝子	3前	2	2								1
	基礎統計演習	3前	2	2								2
	英語基礎	1前	2	2								1
	食文化論	2前	2	2		1						
	コンピュータ入門	1前	2	2								2
	論理学—論理的思考と表現法	1後	1	1								1
	数学	1前	1	1								1
	ストレスと食・健康	1後	1	1		2						
	職業とキャリア形成	1前	1	1		1						
コミュニケーション演習	1前	1	1		3						5	
体育概論	1前	1	1								1	
スポーツと健康	1後	1	1								2	
食品・栄養の基礎	食品学総論	1前	2			1						
	食品学各論	1後	2	2		3			1			
	食品学実験Ⅰ	1後	1			1						
	食品学実験Ⅱ	3後	1			1						
	食の科学	1後	2	2		1						
	食品素材論	2前	2	2								1
	調理学	1後	2	2								1
	栄養と代謝	1後	2	2		1						
	栄養代謝実験	3前	1	1		1						
	食品加工基礎	1後	2	2								1
	食品加工基礎実習	1後	1	1								1
	食生活と健康	1後	2	2		2						
	食品管理論	2前	2	2		1						
食品衛生学	2前	2	2		1							
食品衛生学実験	2後	1	1		1							
人間理解の基礎	生化学実験	2後	1									1
	身体の構造と機能	1前	2									1
	病気の成り立ち	2前	2	2								1
	解剖生理学実習	2前	1	1								1
	食品醗酵学	2前	2	2		1						
	免疫学	3後	2	2								
	感染症学	3後	2	2								
ヘルスフードサイエンス分野	ヘルスフードサイエンス	3前	2	2		1						
	ブレインサイエンス	2後	2	2								1
	公衆衛生学Ⅰ	2後	2	2		1						
	公衆衛生学Ⅱ	3前	2	2		1						
	シンバイオティクス	3前	2	2								1
	分析化学	3前	2	2		1						
	応用微生物学実験	3前	1	1					1			
	応用栄養学実習	2後	1	1								1
	栄養分析学実験	3前	1	1		1						
	公衆栄養学	2後	2	2								1
	ライフステージ栄養学(栄養指導論)	2後	2	2		1						
	ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論)	3前	1	1		1						
	ヘルスサイエンスリサーチ	4前	2	2		1						1
食品官能評価	4前	2	2								1	
栄養遺伝子学(ニュートリゲノミクス)	4後	2	2								1	
食品機能評価	4後	2	2		1							

フードマネージメント分野	調理学実習Ⅰ	2後	1					1
	調理学実習Ⅱ	3前	1					1
	総合調理実習	4前	2					1
	給食の運営管理論	2前	2					1
	給食経営管理実習(校外実習)	2通	2					1
	食品工学総論	2前	2					1
	フードマネジメント論	3後	2	1				
	食品加工貯蔵学	3前	2	1				
	食品加工応用	2後	2	1				
	分子調理学	3前	2					1
	食品機能学	3後	2					1
	食品分析学	3後	2	1				
	食品生命科学	3後	2					1
	機能性食品学Ⅰ	4前	2	1				1
機能性食品学Ⅱ	4後	2					1	
機能性評価科学	3後	2					1	
グローバルビジネス分野	フードシステム学	3前	2	1				
	食品の経営学	3前	2					1
	食品流通学	3前	2					1
	食品資源論	2後	2					1
	食品生産流通学実習(視察)	3後	1	1				
	フードスペシャリスト論	3後	2	1				
	フードコーディネーター論	3後	2	1				
	健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)	2前	2					1
	国際英語(プレゼンテーション)	2後	2					
	食品安全等国際制度論	4前	2					1
	グローバルヘルスフード開発	4前	2	1				
	フードセーフティ入門	4後	2	2				
	食品リスク管理論	4前	2					1
	食環境生産教育実習	3後	2	1				
	国際産学連携論	4前	2					1
	トレーサビリティ論	4後	2					1
フードビジネス関連法規	4後	2					1	
インターンシップ	3	2		6		1		
卒業研究	4	2		6		1		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育内容の充実を図る理由により、「心身健康科学概論」の兼任・兼任の配置を「兼9」から「兼13」に変更。
- ・専任教員の所属変更の理由により、「生物学基礎」「生化学」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼任の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「有機化学」の配当年次を「2後」から「1後」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「無機化学」の配当年次を「2後」から「2前」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る及び担当教員の退職の理由により、「食品微生物学」の配当年次を「2前」から「1後」、単位数を「選択2」から「必修2」、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「ストレスと食・健康」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「コミュニケーション演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「講師1」から「講師0」、兼任・兼任の配置を「兼0」から「兼5」に変更。
- ・教育効果の充実を図る及び担当教員の退職の理由により、「スポーツと健康」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品学各論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食の科学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品素材論」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「調理学」の配当年次を「2前」から「1後」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養と代謝」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養代謝実験」の単位数を「選択2」から「選択1」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品加工基礎」「食品加工基礎実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼任の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食生活と健康」の配当年次を「2前」から「1後」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「身体の構造と機能」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼任の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員の所属変更の理由により、「病気の成り立ち」「解剖生理学実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」、兼任・兼任の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の退職の理由により、「免疫学」「感染症学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」とし、後任の検討。平成31年度後期開講予定の為、問題はない。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「分析化学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の退職の理由により、「応用微生物学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の所属変更の理由により、「応用栄養学実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」、兼任・兼任の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養分析学実験」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「機能性評価科学」の配当年次を「4後」から「3後」に変更。
- ・担当教員の退職の理由により、「国際英語（プレゼンテーション）」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」とし、後任の検討。平成30年度後期開講予定の為、問題はない。
- ・専任教員の所属変更の理由により、「インターンシップ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「講師1」から「講師0」に変更。

【平成30年度】

- ・専任教員の所属変更及び教育内容の充実を図る理由により、「心身健康科学概論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼13」から「兼9」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食文化論」の兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の産休の理由により、「コンピューター入門」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「職業とキャリア形成」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「コミュニケーション演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼6」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の退職の理由により、「スポーツと健康」の兼任・兼担の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品学各論」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品学実験Ⅱ」の兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品素材論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「調理学」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養代謝実験」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品加工基礎」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食生活と健康」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品衛生学」「食品衛生学実験」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「臨床栄養学概論」「2前」「必修2」「兼1」を新規追加。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「給食計画論」「1後」「必修2」「助教1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「病気の成り立ち」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「解剖生理学実習」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る及び担当教員の退職により検討中としていた理由により、「免役学」の単位数を「選択2」から「必修2」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の退職により検討中としていた理由により、「感染症学」の兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「ブレインサイエンス」の配当年次を「2後」から「3前」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「公衆衛生学Ⅱ」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「臨床栄養学実習」「2後」「必修1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「応用栄養学実習」兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養分析学実験」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・専任教員の所属変更の理由により、「公衆栄養学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養指導論Ⅰ」「1後」「必修2」「講師1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養指導論Ⅱ」「2前」「必修2」「講師1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「栄養指導実習」「2後」「必修1」「講師1」「兼1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る及び科目名称の明確化の理由により、「ライフステージ栄養学（栄養指導論）」の授業科目の名称を「ライフステージ栄養学」、配当年次を「2後」から「2前」、単位数を「選択2」から「必修2」に変更。
- ・科目名称の明確化の理由により、「ライフステージ栄養管理実習（栄養指導論）」の授業科目の名称を「ライフステージ栄養管理実習」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品官能評価」の配当年次を「4前」から「3後」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品機能評価」の配当年次を「4後」から「3後」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「調理学実習Ⅰ」「調理学実習Ⅱ」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実、科目名称の明確化の理由により、「総合調理実習」の授業科目の名称を「総合調理（給食の運営）実習」、配当年次を「4前」から「3前」、単位数を「選択2」から「必修2」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「給食の運営管理論」の単位数を「選択2」から「必修2」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の所属変更及び教育効果の充実を図る理由により、「給食経営管理実習（校外実習）」の配当年次を「2通」から「3通」、単位数を「選択2」から「必修2」、専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品工学総論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品加工応用」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品分析学」の配当年次を「3後」から「2後」に変更。
- ・科目名称の明確化の理由により、「機能性評価科学」の授業科目の名称を「機能性評価科学（臨床検査学）」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「食品資源論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「健康科学英語（心身、食品、健康、衛生）」の配当年次を「2前」から「2通」、専任教員等の配置を「教授0」から「教授3」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る及び担当教員の退職により検討中としていた理由により、「国際英語（プレゼンテーション）」の配当年次を「2後」から「3通」、兼任・兼担の配置を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「インターンシップ」の配当年次を「3」から「2通」、専任教員等の配置を「教授6」から「教授2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「国際研修」「全」「選択1」「教授1」を新規追加。
- ・教育効果の充実を図る理由により、「ボランティア活動」「全」「選択1」「教授1」を新規追加。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
37 科目	58 科目	— 科目	95 科目	60 科目 [ +23 ]	43 科目 [ △15 ]	— 科目 [ ]	103 科目 [ +8 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{95} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	記載内容の誤りによる訂正 (30)					
	校舎敷地	22,647 29,452㎡	0㎡	0㎡	22,647 29,452㎡						
	運動場用地	2,837㎡	0㎡	0㎡	2,837㎡						
	小 計	25,484 32,289㎡	0㎡	0㎡	25,484 32,289㎡						
	そ の 他	1,923 1,096㎡	0㎡	0㎡	1,923 1,096㎡						
	合 計	27,407 33,384㎡	0㎡	0㎡	27,407 33,384㎡						
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	記載内容の誤りによる訂正 (30)					
		17,694 18,509㎡ (17,694 18,509㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	17,694 18,509㎡ (17,694 18,509㎡)						
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 増設 (30)				
		33 35室	4室	25室	2室 (補助職員2人)	1室 (補助職員 人)					
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数							
		人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科		7 8 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学科単位での 特定不能なため 大学全体の数			
		(うち外国書)	(うち外国書)	電子ジャーナル							
		冊	種	(うち外国書)					点	点	点
		人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科	42,400 [4,480] (42,559 [4,341]) <del>(38,547 [4,072])</del>	7,003 [2,533] (7,148 [2,516]) <del>(6,367 [2,303])</del>					55 [55] (60 [60]) <del>(51 [51])</del>	2,049 (2,039) <del>(2,006)</del>	9,518 (7,940)
計	42,400 [4,480] (42,559 [4,341]) <del>(38,547 [4,072])</del>	7,003 [2,533] (7,148 [2,516]) <del>(6,367 [2,303])</del>	55 [55] (60 [60]) <del>(51 [51])</del>	2,049 (2,039) <del>(2,006)</del>	9,518 (7,940)	190 (180)					
(6) 図書館		面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数							
		738.15㎡	226	82,500							
(7) 体育館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
		523.89㎡	フットサルコート1面								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	一千元	300千円	図書購入費	20,000千円	20,000千円	20,000千円			
	共同研究費等	一千元	3,000千円	設備購入費	30,000千円	30,000千円	30,000千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,600千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	一千元	一千元				
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入等									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	人間総合科学大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間科学部									
ヘルスフードサイエンス学科	4	80	—	320	学士 (食品健康科学)	0.12	平成29年度	埼玉県さいたま市 岩槻区馬込1288番地	
人間科学部									
心身健康科学科 (通信教育課程)	4	500	—	3,500	学士 (人間科学)	0.48	平成12年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養学)	1.00	平成17年度	同上	
保健医療学部									
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.10	平成23年度	埼玉県さいたま市 岩槻区太田字 新正寺曲輪354-3	
リハビリテーション学科	4	70	—	280		0.95	平成23年度	同上	
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (理学療法学)	1.06	平成23年度	同上	
義肢装具学専攻	4	30	—	120	学士 (義肢装具学)	0.80	平成23年度	同上	
大学の名称	人間総合科学大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間総合科学研究科									
臨床心理学専攻 (修士課程) (通信制課程)	3	15	—	45	修士 (臨床心理学)	0.86	平成28年度	埼玉県さいたま市 岩槻区馬込1288番地	
人間総合科学研究科									
心身健康科学専攻 (修士課程) (通信教育課程)	2	30	—	60	修士 (心身健康科学)	1.08	平成16年度	同上	
心身健康科学専攻 (博士後期課程) (通信教育課程)	3	9	—	27	博士 (心身健康科学)	1.11	平成19年度	同上	
健康栄養科学専攻 (修士課程)	3	5	—	10	修士 (健康栄養科学)	0.10	平成21年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成29年度】		【平成30年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>	氏名(年齢)<就任(予定)年月>	氏名(年齢)<就任(予定)年月>	氏名(年齢)<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	桑田 有 <平成29年4月> 心身健康科学概論 食品加工貯蔵学 フードシステム学 ヘルスフードサイエンス フードセーフティ入門 食品生産流通学実習(模擬) 食環境生産教育実習 グローバルヘルスフード開発	桑田 有 <平成29年4月> 心身健康科学概論 食品加工貯蔵学 フードシステム学 フードセーフティ入門 食品生産流通学実習(模擬) 食環境生産教育実習 グローバルヘルスフード開発 職業とキャリア形成 食品学各論 コミュニケーション演習 ストレスと食・健康 食の科学	桑田 有 <平成29年4月> 心身健康科学概論 食品加工貯蔵学 フードシステム学 フードセーフティ入門 食品生産流通学実習(模擬) 食環境生産教育実習 グローバルヘルスフード開発 職業とキャリア形成 食品学各論 コミュニケーション演習 ストレスと食・健康 食の科学 食品発酵学 <small>健康科学英語(心身、食品、健康、英語)</small> インターンシップ 卒業研究	
専	教授	丸井 英二 <平成29年4月> 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ ヘルスサイエンスリサーチ フードセーフティ入門	丸井 英二 <平成29年4月> 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ ヘルスサイエンスリサーチ フードセーフティ入門	丸井 英二 <平成29年4月> 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ ヘルスサイエンスリサーチ フードセーフティ入門	
専	教授	岩切 大 <平成29年4月> 食品微生物学 免疫学 感染症学 応用微生物学実験	免疫学 感染症学		
専	教授	中西 由季子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 職業とキャリア形成 ライフステージ栄養学(栄養指導論) ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論) 食品分析学 食品機能評価 機能的食品学Ⅰ フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 フードマネジメント論	中西 由季子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 ライフステージ栄養学(栄養指導論) ライフステージ栄養管理実習(栄養指導論) 食品分析学 食品機能評価 機能的食品学Ⅰ フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 フードマネジメント論 食品学実験Ⅰ コミュニケーション演習 栄養と代謝 栄養代謝実験 ストレスと食・健康 栄養分析学実験	中西 由季子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 ライフステージ栄養学 ライフステージ栄養管理実習 食品分析学 食品機能評価 機能的食品学Ⅰ フードスペシャリスト論 フードコーディネーター論 フードマネジメント論 食品学実験Ⅰ コミュニケーション演習 栄養と代謝 栄養代謝実験 ストレスと食・健康 栄養分析学実験 食生活と健康 <small>健康科学英語(心身、食品、健康、英語)</small> 卒業研究	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	玉木 雅子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品管理論 食文化論 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 食品衛生学 食品衛生学実験 食品加工基礎 食品加工基礎実習 食品加工応用 食品発酵学	玉木 雅子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品管理論 食文化論 食品学実験Ⅱ 食品衛生学 食品衛生学実験  食品加工応用 食品発酵学	玉木 雅子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 コミュニケーション演習 食品学総論 食品学各論 食品管理論 食文化論  食品衛生学 食品衛生学実験  卒業研究
			生貝 初 <平成29年4月> 食生活と健康 無機化学	
			時光 一郎 <平成29年10月> ヘルスフードサイエンス 食品学各論 分析化学 食生活と健康 有機化学	時光 一郎 <平成29年10月> ヘルスフードサイエンス 食品学各論 分析化学  有機化学 無機化学 職業とキャリア形成 食品学実験Ⅱ 食品素材論 食品工学総論 食品資源論 <small>健康科学実習(心身、食品、健康、衛生)</small> インターンシップ 卒業研究 国際研修 ボランティア活動
			宮 聡子 <平成29年4月> 食品微生物学 応用微生物学実験 食品学各論	宮 聡子 <平成29年4月> 食品微生物学 応用微生物学実験 食品学各論 食品衛生学 食品衛生学実験 <small>健康科学実習(心身、食品、健康、衛生)</small> 卒業研究
兼任	助教	鈴木 恵美 <平成29年4月> 心身健康科学概論 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習)	鈴木 恵美 <平成29年4月> 心身健康科学概論 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習)	鈴木 恵美 <平成29年4月> 心身健康科学概論 給食の運営管理論 給食経営管理実習(校外実習) 給食計画論 総合調理(給食の運営)実習
			中沢 麻理 <平成29年4月> コミュニケーション演習 心身健康科学概論 公衆栄養学 公衆栄養学 公衆栄養学	中沢 麻理 <平成29年4月> コミュニケーション演習 公衆栄養学 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 栄養指導実習
専	講師	矢島 孔明 <平成29年4月> コミュニケーション演習 生物学基礎 生化学 身体の構造と機能 分析化学 栄養と代謝	矢島 孔明 <平成29年4月>  生物学基礎 生化学	矢島 孔明 <平成29年4月>  生物学基礎  心身健康科学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	助教	平子 哲史 <平成29年4月> 心身健康科学概論 病気の成り立ち 解剖生理学実習 応用栄養学実習 食生活と健康 栄養代謝実験 栄養分析学実験
兼任	教授	久住 眞理 <平成29年4月> 心身健康科学概論
兼任	教授	久住 武 <平成29年4月> 基礎統計演習
兼任	教授	鈴木 はる江 <平成29年4月> 心身健康科学概論 ストレスと食・健康
兼任	教授	島田 涼子 <平成29年4月> こころの科学
兼任	教授	小岩 信義 <平成29年4月> 心身健康科学概論 基礎統計演習
兼任	教授	白石 弘美 <平成29年4月> 心身健康科学概論
兼任	教授	熊谷 修 <平成29年4月> 心身健康科学概論 公衆栄養学
兼任	教授	庄子 和夫 <平成29年4月> 生命科学概論 化学基礎 生化学実験 細胞と遺伝子 有機化学 無機化学
兼任	教授	吉田 浩子 <平成29年4月> 行動科学概論
兼任	教授	遠藤 隆行 <平成29年4月> <small>健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)</small> ブレインサイエンス 食品機能学 食品生命科学
兼任	教授	大塚 博 <平成29年4月> 数学
兼任	准教	梅園 智子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 調理学 食の科学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	助教	平子 哲史 <平成29年4月> 心身健康科学概論 病気の成り立ち 解剖生理学実習 応用栄養学実習
兼任	教授	久住 武 <平成29年4月> 基礎統計演習 心身健康科学概論
兼任	教授	鈴木 はる江 <平成29年4月> 心身健康科学概論
兼任	教授	島田 涼子 <平成29年4月> こころの科学
兼任	教授	小岩 信義 <平成29年4月> 心身健康科学概論 基礎統計演習
兼任	教授	白石 弘美 <平成29年4月> 心身健康科学概論 コミュニケーション演習
兼任	教授	庄子 和夫 <平成29年4月> 生命科学概論 生化学実験 細胞と遺伝子
兼任	教授	吉田 浩子 <平成29年4月> 行動科学概論
兼任	教授	遠藤 隆行 <平成29年4月> <small>健康科学英語(心身、食品、健康、衛生)</small> ブレインサイエンス 食品機能学 食品生命科学
兼任	准教	梅園 智子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	助教	平子 哲史 <平成29年4月> 心身健康科学概論 応用栄養学実習
兼任	教授	久住 武 <平成29年4月> 基礎統計演習 心身健康科学概論
兼任	教授	鈴木 はる江 <平成29年4月> 心身健康科学概論
兼任	教授	島田 涼子 <平成29年4月> こころの科学
兼任	教授	小岩 信義 <平成29年4月> 心身健康科学概論 基礎統計演習 ブレインサイエンス
兼任	教授	白石 弘美 <平成29年4月> 心身健康科学概論 コミュニケーション演習 臨床栄養学概論 臨床栄養学実習 応用栄養学実習
兼任	教授	庄子 和夫 <平成29年4月> 生命科学概論 生化学実験 細胞と遺伝子 生化学
兼任	教授	吉田 浩子 <平成29年4月> 行動科学概論
兼任	教授	遠藤 隆行 <平成29年4月> 食品機能学 食品生命科学
兼任	准教	梅園 智子 <平成29年4月> 心身健康科学概論 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合調理(給食の運営)実習



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	高橋 紀子 <平成29年4月> スポーツと健康			
			兼任	講師	織田 佐由子 <平成29年4月> 英語基礎	兼任	講師	織田 佐由子 <平成29年4月> 英語基礎 <small>健康科学英語(心身、食品、健康、衛生) 国際英語(プレゼンテーション)</small>
			兼任	講師	三輪 操 <平成29年10月> 食品加工基礎 食品加工基礎実習	兼任	講師	三輪 操 <平成29年10月> 食品加工基礎 食品加工基礎実習 食品学実験Ⅱ
						兼任	講師	小川 聖子 <平成30年4月> 食文化論
						兼任	講師	矢澤 美佐紀 <平成30年4月> <small>論理学—論理的思考と表現法</small>
						兼任	講師	佐藤 裕子 <平成30年4月> 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 栄養指導実習

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・専任岩切大教授退職による就任辞退により、専任宮聡子助教、兼任渡邊成教授に変更。
- ・専任矢島孔明講師所属変更による兼任に変更により、専任時光一郎教授に変更。
- ・専任平子哲史助教所属変更による兼任に変更により、専任生員初教授に変更。
- ・兼任久住眞理学長退任による就任辞退により、兼任藤原宏子講師、兼任大出理香助教、兼任岩崎有希助教に変更。
- ・兼任熊谷修教授退職による就任辞退により、兼任中沢麻理講師に変更。
- ・兼任大塚博教授就任辞退により、兼任鈴木淳子助教に変更。
- ・兼任高原皓全助教退職による就任辞退により、兼任弓削田彩乃講師、兼任高橋紀子講師に変更。
- ・兼任奥下香講師就任辞退により、兼任織田佐由子講師に変更。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼任三輪操講師新規採用。

【平成30年度】

- ・専任生員初教授退職による辞任及教育効果の充実を図る理由により、兼任助教鈴木恵美助教、兼任中沢麻理講師を専任に変更。
- ・兼任朴村周子助教産休による辞任、オムニバス科目を担当しており授業に影響がない為、後任なし。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼任矢部えん助教新規採用。
- ・兼任岡野幸江講師退職による辞任により、兼任矢澤美佐紀講師に変更。
- ・兼任高橋紀子講師退職による辞任、オムニバス科目を担当しており授業に影響がない為、後任なし。
- ・教育効果の充実を図る理由により、兼任小川聖子講師、兼任佐藤裕子講師新規採用。

- (注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
7	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
5	0	1	1	7	5	0	1	2	8	5	0	1	2	8
(5)	(0)	(1)	(1)	(7)						[±0]	[±0]	[±0]	[+1]	[+1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{8}{7} = \boxed{114.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	岩切 大	必修	食品微生物学	①	平成29年3月 人間総合科学大学を退職したため就任辞退（29） 後任未定科目の決定（30）	
			選択	免疫学	②		
			選択	感染症学	②		
			選択	応用微生物学実験	①		
2	講師	矢島 孔明	必修	生物学基礎	②	平成29年4月 人間科学部心身健康科学科専任に就任したため就任辞退（29）	
			必修	生化学	②		
			必修	コミュニケーション演習	①		
			必修	栄養と代謝	①		
			必修	身体の構造と機能	②		
3	助教	平子 哲史	選択	分析化学	①	平成29年4月 人間科学部健康栄養学科専任に就任したため就任辞退（29）	
			必修	心身健康科学概論	①		
			選択	栄養代謝実験	①		
			必修	食生活と環境	①		
			選択	病気の成り立ち	②		
			選択	解剖生理学実習	②		
選択	応用栄養学実習	②					
選択	栄養分析学実験	①					
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
3	人	必修	8 科目	必修	5 科目	必修	3 科目
		選択	9 科目	選択	4 科目	選択	5 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	9 科目	計	8 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1							
2							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)						
3	必修	8	科目	必修	5	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
	選択	9	科目	選択	4	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	17	科目	計	9	科目	計	8	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{7} = \boxed{42.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	生貝 初	必修	食生活と健康	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	無機化学	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岩切大教授(人間科学部人間科学科・平成29年3月)のやむを得ない退職及び矢島孔明講師(人間科学部心身健康科学科・平成29年4月)、平子哲史助教(人間科学部健康栄養学科・平成29年4月)の他学科就任に伴い、生貝初教授(平成29年4月)、宮聡子助教(平成29年4月)、時光一郎教授(平成29年10月)を本学科の専任教員とした。  
生貝初教授(人間科学部ヘルスフードサイエンス学科・平成30年3月)の定年による退職に伴い、中沢麻理講師(平成30年4月)、鈴木恵美助教(平成30年4月)を本学科の専任教員とした。  
なお、学生には、ガイダンス時における教員紹介、シラバス、時間割により周知されている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (28年10月)	・人間科学部人間科学科（通信教育課程）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 ・人間科学部心身健康科学科（平成29年度より人間科学科より名称変更）の入学定員を平成29年度入学生より1,000名から500名に変更した。（29）	履行済	
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項 ・教員組織編制の将来構想について検討し、平成30年度より、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員にあたる教員の見直しを行う為、当学科の学科長の交代及び担当科目の引き継ぎを実施している。（30）	未履行	・教員組織編制の将来構想を着実に実行する。（29）
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	・人間科学部ヘルスフードサイエンス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 ・再度、当該学科の社会のニーズ調査を実施し、カリキュラム編成の見直しを実施した。そして、平成30年3月「栄養士」の資格が取得出来る養成校として認可された。（30）	未履行	・当該学科の社会のニーズ調査を実施した結果、当該カリキュラムに栄養士の資格を取得できることになることが分かった。そこで、カリキュラム編成の見直しを実施し、平成30年3月「栄養士」の資格が取得出来る養成校として認可された。今後、広報に更なる強化を入れ学生募集に努めていくこととしている。（30）
	・人間総合科学研究科臨床心理学専攻（M）（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項 ・教員組織編制の将来構想について検討し、平成30年度より、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員にあたる教員が1名退職したことにより、若手の教員を採用した。（30）	未履行	・教員組織編制の将来構想を着実に実行する。（30）

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



## 7 その他全般的事項

<人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
卒業要件単位数 130単位 必修科目63単位, 選択科目57単位	卒業要件単位数 130単位 必修科目100単位, 選択科目30単位  本学科に求められる社会の要請及び教育効果を考慮し、「栄養士免許」の養成校として平成30年度より認定(30)。 ※養成校になる為の卒業要件単位数の変更となる。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

本学では、「FD・SD推進委員会」を設置し、FD活動を計画・実施している。(平成19年度～平成22年度「FD推進室」、平成23年度～平成27年度「FD推進委員会」、平成28年度～「FD・SD推進委員会」として規程、運営方法の見直しも行いながら、機動的な活動展開を実施している。)

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

本学のFD・SD推進委員会は、平成29年度構成員15名(教員11名、職員4名)とし設置。このような構成員及び出席者により、平成29年度は、年4回開催した。

##### c 委員会の審議事項等

FD・SD推進委員会(FD・SD推進委員会規程第7条)

- (1) FD及びSD活動方針に関する事項
- (2) 授業アンケート、卒業生アンケート等FDの実施に関する事項
- (3) FD機関紙に関する事項
- (4) FD・SD研修プログラムの開発・実施に関する事項
- (5) その他FD及びSDに関する重要な事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・FD研修会
- ・新任教員のための研修会
- ・教員相互の授業参観及び意見交換会
- ・学生による授業評価アンケート
- ・機関誌の発行 等

##### b 実施方法

- ・FD研修会：テーマを決め、全教職員を対象に定期的開催
- ・新任教員のための研修会：着任時に新任教員対象に研修会を実施
- ・教員相互の授業参観及び意見交換会：各学科で授業参観の対象教員及び科目を決定し、年間を通じて全教員を対象に実施
- ・学生による授業評価アンケート：全ての授業について、各授業終了時に実施
- ・機関誌の発行：FD研修会及び教員相互の授業参観等における内容を機関誌(News Letter)にて発行

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD研修会 年6回
- ・新任教員のための研修会 1回
- ・教員相互の授業参観及び意見交換会 10教員10科目
- ・学生による授業評価アンケート 年2回
- ・機関誌の発行 年2回

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD研修会及び教員相互の授業参観を通じて、自分自身の研究領域及び研究に対する視野を広げ相関性を持つと共に、教育の資質向上に努めている。
- ・学生による授業評価アンケートの集計結果に対して、各教員に授業改善提案書を提出させることで、授業改善に努めている。
- ・本学での取組みを機関誌として発行することで、振り返り及び新着任教員への周知徹底に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施 有  
実施時期 各授業終了時に実施（集計春期・秋期の年2回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・Webシステム（Uhas@Myキャンパス）上で、教員や学生へ集計結果を公開している。
- ・ホームページ上で概要を公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

- ・『自己点検評価書』(平成27年度) 平成28年4月1日公表開始
- ・『自己点検評価書』(平成24年度)、『自己評価報告書』(平成20年度)、  
『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書(2000-2003年度)』は過年度に公表済み

##### b 公表方法

- ・『自己点検評価書』(平成27年度)、『自己点検評価書』(平成24年度)、  
『自己評価報告書』(平成20年度)は大学ホームページにて公表
- ・『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書(2000-2003年度)』は大学事務局

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に日本高等評価機構による大学機関別認証評価を受審し、「適合」と認定された。  
次回は6年以内に受審を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 ( 2018年 5月 15日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。